

SSH事業「東京実習」2日目「海洋研究開発機構」

2日目は、3コースに分かれ、12名が海洋研究開発機構横浜研究所を訪問しました。ここでは、本校OBの古恵亮先生にお世話になりました。古恵先生は海洋・大気環境変動予測応用グループの主任研究員を務めています。

生徒たちはまず、見学した地球シミュレーターの演算能力に驚いたようです。普段見ることのできない施設を解説つきで見学し、このような研究機構が取り組んでいるさまざまなプロジェクトの存在や、研究と社会事象の接点について知ることができました。「古恵先生の講義は、今の自分にはレベルが高かったが、事前課題にしっかり取り組んだため、とても興味深く学ぶことができた」という感想が多く聞かれました。

古恵先生には、最寄りの駅までお出迎えくださったり、講義終了後に先生との交流の時間を設けていただいたりと本当にお世話になっています。交流の時間には、研究や学問以外の質問にもざっくばらんにお答えいただき、生徒たちは先生のお人柄に魅了されたようです。

<生徒の感想より>

「ことの科学」と「ものの科学」の違いについて興味深く、お話を聞くことができました。難しい問題があるからこそ、その問題を解決するために研究をしていくのだと感じました。

先生が説明を省かれた部分を自分で調べたいと思う。

現在の技術は、想像以上に進歩し続けているということを実感し、自分もそれに後れをとらないよう、学び続けることが大事だと思いました。

